

安全データシート

作成日 2020年9月18日

改訂日 2023年6月12日

1. 製品及び会社情報

| | |
|-------|------------------------|
| 製品名 | Myristic Acid (ミリスチン酸) |
| 会社名 | アーク株式会社 |
| 住所 | 大阪府大阪市北区西天満3丁目10-3 |
| 電話番号 | 06-6809-5970 |
| FAX番号 | 06-6809-5975 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | |
|-----------------|----------|
| 物理化学的危険性 | 該当する区分なし |
| 健康に対する有害性 | |
| 皮膚腐食性/刺激性 | 区分2 |
| 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 | 区分2 B |
| 環境に対する有害性 | 該当する区分なし |

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
皮膚刺激
眼刺激

注意書き
[安全対策]

取扱い後は手や顔をよく洗うこと。
保護手袋を着用すること。

[応急措置]

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

3. 組成、成分情報

| | |
|--------------|-----------------------------|
| 化学物質/混合物の区別: | 化学物質 |
| 化学名又は一般名: | ミリスチン酸 |
| 濃度又は濃度範囲: | >99.0% |
| CAS RN: | 544-63-8 |
| 別名 | Tetradecanoic Acid 99% min. |
| 化学式: | C14 H28 O2 |
| 官報公示整理番号 | |
| 化審法: | (2)-608 |
| 安衛法: | 公表化学物質 |

4. 応急措置

| | |
|--------------|---|
| 吸入した場合: | 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 皮膚に付着した場合: | 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 目に入った場合: | 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合: | 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。 |
| 応急措置をする者の保護: | 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。 |

5. 火災時の措置

| | |
|------------|--|
| 消火剤: | 粉末, 泡, 水噴霧, 二酸化炭素 |
| 特有の消火方法: | 消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。 関係者以外は安全な場所に退去させる。 周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 |
| 消火を行う者の保護: | 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: | 個人用保護具を着用する。 漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。 |
| 環境に対する注意事項: | 製品が排水路に排出されないよう注意する。 |
| 封じ込め及び浄化の方法・機材: | 粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。 付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | |
|------------|---|
| 技術的対策: | 取扱いは換気のよい場所で行う。 適切な保護具を着用する。 粉塵が飛散しないように注意する。 取扱い後は手や顔などをよく洗う。 |
| 注意事項: | 粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。 |
| 安全取扱い注意事項: | 皮膚、眼および衣類との接触を避ける。 |
| 保管 | |
| 適切な保管条件: | 容器を密栓して冷暗所に保管する。 酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。 |
| 安全な容器包装材料: | 法令の定めるところに従う。 |

8. 暴露防止及び保護措置

| | |
|-------------|---|
| 設備対策: | 作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。 |
| 管理濃度: | 設定されていない。 |
| 保護具 | |
| 呼吸器の保護具: | 防塵マスク、簡易防塵マスク等。 |
| 手の保護具: | 保護手袋。 |
| 目の保護具: | 保護眼鏡。状況に応じ保護面。 |
| 皮膚及び身体の保護具: | 保護衣。状況に応じ、保護長靴。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 物理的状態(20°C): | 固体 |
| 形状: | 結晶 ~ 粉末 |
| 色: | 白色 |
| 臭い: | 僅かな |
| pH: | 情報なし |
| 融点: | 52-54°C |
| 沸点/沸騰範囲: | 326.2°C |
| 引火点: | >200°C (PMCC) |
| 燃焼又は爆発範囲 | |
| 下限: | 情報なし |
| 上限: | 情報なし |
| 比重: | 情報なし |
| 溶解度 | |
| [水] | 不溶 (22mg/L, 30°C) |
| [その他の溶剤] | |
| 可溶: | メタノール, エーテル, ベンゼン, クロロホルム, 石油エーテル |
| オクタノール/水分配係数: | 6.11 |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-------------|------------------|
| 反応性: | 情報なし |
| 化学的安定性: | 適切な条件下においては安定。 |
| 危険有害反応可能性: | 特別な反応性は報告されていない。 |
| 混触危険物質: | 酸化剤, 強塩基 |
| 危険有害な分解生成物: | 二酸化炭素, 一酸化炭素 |

11. 有害性情報

| | |
|------------------|--|
| 急性毒性: | ivn-mus LD50:43mg/kg orl-rat LD50:>10g/kg |
| 皮膚腐食性/刺激性: | skn-hmn 75mg/3D-I M OD |
| 眼に対する重篤な損傷性/刺激性: | eye-rbt 100mg M LD |
| 生殖細胞変異原性: | sln-smc 2500ppb |
| 発がん性: | |
| IARC = | 情報なし |
| NTP = | 情報なし |
| 生殖毒性: | 情報なし |
| RTECS番号: | QH4375000 |

12. 環境影響情報

| | |
|--------------------------------|------------------------|
| 生態毒性: | |
| 魚類: | 情報なし |
| 甲殻類: | 情報なし |
| 藻類: | 情報なし |
| 残留性・分解性: | 情報なし |
| 生体蓄積性(BCF): | 26000 |
| 土壤中の移動性 | |
| オクタノール/水分配係数: | 6.11 |
| 土壤吸着係数(Koc): | 5.0x 10 ⁴ |
| ヘンリー定数(PaM /mol): ³ | 5.1 x 10 ⁻² |
| オゾン層への有害性: | 情報なし |

13. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。
地方条例や国内規制に従う。
焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解または混合した後、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。
空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。
処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

| | |
|-----------------------------|--|
| 国連分類: | 国連の分類基準に該当せず。 |
| 国連番号: | 該当なし。 |
| 輸送の特定の安全対策 及び条件: | 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にし、法令の定めるところに従う。 |

15. 適用法令

| | |
|-------------|--------|
| 化審法: | 届出不要物質 |
|-------------|--------|

16. その他の情報

このMSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。